

わかば

NALC豊中・池田拠点「わかばの会」会報

改定 第26号 (通巻 第183号)

発行 平成24年11月

事務局 豊中市上野西3-13-55 ラピスマンション605

Tel&Fax 06-6852-4802

e-mail nalctim2007@yahoo.co.jp

URL <http://sky.groceries.jp/nalctim2007/>

わかばの会バス旅行・但馬への旅

10月30日(火)ナルクわかばの会バス旅行が行われました。今年は但馬地方へ総勢40名の旅です。豊岡市は会員の久保木さんの故郷で、バスの中で行先の説明をして下さいました。

最初は山陰海岸ジオパーク・竹野海岸の散策です。ジオパークとは科学的にみて特に重要で貴重な、あるいは美しい



地形、地質遺産を含む自然公園の事で、竹野の浜も周辺には奇岩や断崖、そして美しい砂浜が広がっていました。ボランティア・ガイドさんの説明で海岸を歩き、古代の日本に思いを馳せました。海の色は空の色を映すと言われ、天気が心配でしたが訪れた時間には美しい海が広がり、水面の様々な色の変化を見ることが出来ました。北前船の寄港地として賑わった竹野には北前館があり、船や沢山の資料が展示され往時が偲ばれました。

その後、休暇村竹野海岸で昼食を頂き、次の目的地へと向かいました。この地方は雨が多いそうでバスの移動の間も雨模様で、外は山々の間から霧が立ちこめ、幻想的な風景が広がっていました。円山川の流れは海に近づくにつれ川幅が広がり、海と同化していく雄大な光景でした。道路を挟んで川の反対側に広がる町は川より低く、決壊の被害もたびたびだったそうですが、この自然と共存し生きてこられた人たちの力強さを感じました。

玄武洞は160万年前の火山活動で誕生し、その地質学的な価値と節理の美しさで昭和6年に天然記念物に指定されました。黒色の火山岩は玄武岩と呼ばれ、玄武洞から出た石がその名前の由来だそうです。自然の作り出した造形の美しさに圧倒されました。

最後に訪れたのはコウノリの郷。かつて日本の空を飛んでいたコウノリは生息地環境の悪化で昭和45年に日本の空から姿を消しましたが、最後の生息地であった豊岡市で野生個体を捕獲し、四半世紀ぶりに待望のヒナ誕生、43年ぶりに野外でのヒナ誕生、そして現在では野外で生息するコウノリの数が増えているそうです。この世界的にも稀な絶滅の生物を元の状態に戻すまでの豊岡市の人たちの努力に頭が下がると共に、一度壊した自然を戻す事の難しさを、現在議論されている原子力発電の事も含めてよく考えなければならない問題だと思いました。

今回の旅行では、全員分の資料を用意してバスの中で詳しいガイドをして下さった久保木幸代さん、本当にありがとうございました。おかげで印象に残る良い旅が出来ました。(吉田光代)



2013年新年会のご案内

開催日：1月15日(火曜日) 場所：浪漫路(ローマンルー)

中華料理の美味しい店で、昨年新年会を行ったソッシュの前です。詳細は次回の会報に掲載します。沢山の方に参加して頂き、楽しい時間を過したいと思います。(鈴木陽子)